

第5回東京アジア・ミュージックマーケット(2008 5th TAM)開催概要

～JAPAN国際コンテンツフェスティバル オフィシャルイベント～

5th TAMは日本音楽の魅力あるアーティスト・音楽コンテンツを広く海外に発信していくことを目的として、アジア及び欧米諸国より多数の音楽関係者を招き、各国との音楽産業の発展と相互の連携拡大に向け音楽産業を挙げて取り組んでまいります。

◆日程: 2008年10月14日(火)～17日(金)(4日間) ◆会場: 品川プリンスホテル、品川ステラボール、品川club eX、代官山UNIT

<商談会>

◆日程: 10月14日(火) 15日(水)

10:00～13:00 プレゼンテーション 14:30～17:30 個別商談会

◆会場: 品川プリンスホテル メインタワー宴会場

アジア・欧米より招聘した約60名のバイヤー、ライブ関係者に向けてプレゼンテーション及び個別商談の2部構成。自由で活発な商談の場をご提供致します。

<ライブショーケース>

<OUT> (国内アーティスト)

◆日程: 10月14日(火) 15日(水) 開場 18:30 開演 19:00 ◆会場: 品川club eX
2日間にわたり、日本音楽シーンの様々なジャンルで活躍中のトップランナーが集結。クオリティ高いパフォーマンスを提供します。

◆日程: 10月16日(木) 開場 17:30 開演 18:30 ◆会場: 品川ステラボール
3日目はアニミングナイト。世界中から熱狂的な支持を得ているアニマルチャー。その中で活躍中のアーティスト達が個性豊かに競演!

出演 (50音順)

(/14) 彩風(AYAKAJI)、ザツハルテ、熊貓xiongmao(シェンマオ)、SpecialThanks、PINKLOOP

(/15) Cargo、菊地成孔Dub Sextet、J to S、DJ SILVA

(/16) ALvino、井上あずみ、栗林みな実、タイナカ サチ、美郷あき、May'n

<IN> (海外アーティスト)

◆日程: 10月17日(金) 開場 18:00 開演 18:30 ◆会場: 代官山UNIT

田原(TIAN YUAN)(ティエンユエン)(中国) sodagreen(蘇打綠)(ソーダグリーン)(台湾)
WINTERPLAY(ウインタープレイ)(韓国) Pete Teo(ピート・テオ)(マレーシア)
"AOF" Pongsak Rattanapong(オーフノホンサック ラタナホン)、PEK(ペック)(タイ)

<ビジネスセミナー>

◆日程: 10月16日(木) 2セッション

◆会場: 品川プリンスホテル メインタワー宴会場

激動を続ける音楽産業。欧米、アジアとエリアを分けながら最も旬な話題をキャッチアップ。実際に海外業務に携わっている方々を招いてリアリティある実践的セミナー、パネルディスカッションを開催。

<Information>

★海外に向けて日本音楽情報ポータルサイトがスタート!

(英語・中国語に対応)

「日本音楽娯楽快線」 www.jp-musicet.com

★TAMに関する最新情報はこちらで! TAMオフィシャルHP

<http://tamm.jp>

主催: 経済産業省、(財)音楽産業・文化振興財団、
NPO法人映像産業振興機構

協力: (株)日本レコード協会

後援: 外務省、国際レコード産業連盟、(株)私的録音補償金管理協会、
(株)日本音楽著作権協会 (株)日本芸能実演家団体協議会、(株)日本音楽事業者協会、
(株)音楽出版社協会、(株)音楽制作者連盟、
(株)全国コンサートツアー事業者協会

◆2008 5th TAM ビジネスセミナー1の概要 (案)

<p>テーマ</p>	<p>～Cool JapanとJ-Pop・J-Rock ヴォケット～ (仮) 海外ライブ公演の成功に向けて・・・</p>
<p>概要</p>	<p>米国、欧州での Cool Japan 関連イベントのオーガナイザーを招いて、欧米諸国における日本カルチャー人気の深層を探る。各国のイベントオーガナイザーとの連携を考察し、J-Pop・J-Rock 主体のイベント実現の可能性を探る。既に、活動基盤を築き始めている邦人アーティストの活動展開を紹介し、先行するアニメやコミックとの比較検証、協力体制構築の可能性について意見交換し、ワークショップ・映画・ゲームなどあらゆる分野とのコラボレーションを可能な限り視野に入れて議論を進めたい。また、欧米の主要都市における、日本文化発信拠点、情報集約拠点の設置についての意見交換も行う予定である。</p>
<p>項目</p>	<p>★パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Cool Japan の実情について、オーガナイザーの視点から考察 ・J-Pop、J-Rock の進出状況、現地での認知度 ・音楽より先行しているコミック、アニメは ・クリエイターニシアテナイヴな協力体制の確立に向けて ・海外での受け入れの可能性／Japan-Fes (J-Pop イベント)
<p>講師</p>	<p>★ パネリスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mr. Thomas Sirdey (Japan Expo オーガナイザー) (フランス) ・Mr. Jean-Francois Dufourjapan (Expo オーガナイザー) (フランス) ・Ms. Trullee Karahashi (Anime-EXPO オーガナイザー) (アメリカ) ・Mr. Sean Chiochankitmun (Otakon オーガナイザー) (アメリカ) ・Ms. Yaz Noya(イベントコーディネーター) (アメリカ) ・Mr. Matthias Muessig (音楽プロモーター、ディストリビューター) (ドイツ) ・櫻井 晋氏 ((有)クリエイターズ プロデュース ユニット ゴー) ・大石征裕氏 ((社) 音楽制作者連盟 理事長) <p>(順不同)</p>
<p>開催日</p>	<p>2008年10月16日(木) 時間：11:00～13:00(予定)</p>
<p>共催</p>	<p>経済産業省、(財)音楽産業・文化振興財団、NPO法人映像産業振興機構</p>
<p>協力</p>	<p>(社) 音楽制作者連盟</p>
<p>会場</p>	<p>品川プリンスホテル メインタワー宴会場(22F)(予定) ★日英同時通訳</p>
<p>参加方法 (無料)</p>	<p>対象：内外音楽業界関係者。応募：TAM HP(http://tam.jp)よりの事前登録が必要。先着順受付、定員(200名を予定)になり次第締切。</p>
<p>Info</p>	<p>TAM事務局：Tel.03-5408-8885 tamseminar@promic.net</p>

◆2008 5th TAM ビジネスセミナー2の概要(案)

<p>テーマ</p>	<p>～日本の音楽が海外市場で成功するための課題と戦略～(仮) 特に、アジアマーケットで成功するビジネスモデルとは・・・</p>
<p>概要</p>	<p>アジアの経済発展と消費動向の見極めは日本の音楽業界としても絶えず注目する必要があるでしょう。特に、中国での大きな潜在的消費市場は今もって大きなビジネスターゲットであります。今回は、アジア各国に日本音楽の浸透に向けて活躍しているテレビ番組プロデューサー、中国のレコード会社社長で音楽プロデューサーとして手腕を発揮し中国音楽業界団体の新たな構築に向けて中心的役割をしている方、アジアにおいて配信ビジネスに精通している方々に登壇頂き、コンテンツグローバル化に必要な事業戦略とは何かを考察します。</p>
<p>項目</p>	<p>★パネルディスカッション ・アジアでの日本音楽の受容。 (海外向けテレビ番組制作現場からのプレゼンテーション・・・) ・中国、台湾を中心とした事業展開のキーポイント。 (ライヴエンターテインメントの最新状況・・・) (スポンサーシップ獲得に向けて・・・) (アーティストキヤスタイングの傾向と対策は・・・) ・インターネットを利用した音楽ビジネス。 (eコマースの現状、購買層、商品形態、将来性・・・)</p>
<p>講師</p>	<p>★ モデレーター：ステイヴ・マックルレア氏 (『ビルボード』誌アジア支局長) ★ パネリスト： ・ 山中宏之氏 (NHK エンタープライズ アジア中国プロジェクト エグゼクティブ・プロデューサー) ・ 新山浩康氏 (エイベックス・マーケティング(株) アーティストマーケティング本部プロジェクト推進室長) 兼 エイベックス・アジア・ホールディングス(香港法人) 音楽配信担当部長 ・ 新井健司氏 ((株) キングレコード国際部部长) 兼 (株) セブンシーズミュージック常務取締役) ・ 沈永革氏 (竹書文化 総経理) (中国) ・ Mr. Dennis Yang (Yahoo! Taiwan, Senior Director) (台湾) (順不同)</p>
<p>開催日</p>	<p>2008年10月16日(木) 時間：14：30～16：30(予定)</p>
<p>共催</p>	<p>経済産業省、(財)音楽産業・文化振興財団、NPO 法人映像産業振興機構</p>
<p>会場</p>	<p>品川プリンスホテル メインタワー宴会場(22F)(予定) ★日英同時通訳</p>
<p>参加方法 (無料)</p>	<p>対象：内外音楽業界関係者。応募：TAM HIP(http://tam.jp)よりの事前登録が必要。先着順受付、定員(200名を予定)になり次第締切。</p>
<p>Info</p>	<p>TAM事務局：Tel.03-5408-8885 tamseminar@promic.net</p>